



2019年5月22日
住友生命保険相互会社

スミセイ“Vitality Action”が「第7回スポーツ振興賞」にて 「経済産業省 商務・サービス審議官賞」を受賞!!

住友生命保険相互会社（取締役 代表執行役社長 橋本 雅博、以下「住友生命」）は、スミセイ“Vitality Action”^{※1}が公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会及び一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構が実施している「第7回スポーツ振興賞^{※2}」において「経済産業省 商務・サービス審議官賞」を受賞しました。

住友生命では、健康増進型保険“住友生命「Vitality」”を軸に社会全体への健康増進の働きかけや、健康経営を推進することで、「健康寿命の延伸」という社会的課題の解決に取り組む、CSV^{※3}プロジェクトを展開しています。

スミセイ“Vitality Action”は、CSVプロジェクトの柱のひとつ「社会全体への健康増進の働きかけ」における健康増進に取り組む社会貢献事業として、2017年度の住友生命創業110周年の節目にスタートしました。本取組みは、1つの組織だけでなく、自治体や財団、研究者、アスリート等様々な皆さまのご協力を得ながら「健康寿命の延伸」に貢献していく取組みで、全国110か所で様々な種目のトップアスリートを講師に迎えた親子スポーツイベントの開催や、大規模ランニングイベントの開催による「行動促進」を図っています。また、講演会の開催や健康啓発冊子の配布等による健康増進への「理解促進」を図っています。

現在までに、親子スポーツイベントを全国75か所で開催し8,970名の方に参加いただき、講演会を全国106か所で開催、約37,500名の方に参加いただきました。

今後も、この取組みを継続し「健康寿命の延伸」に向けた社会全体への「行動促進」および「理解促進」に貢献してまいります。

※1 <http://www.sumitomolife.co.jp/sva/>

※2 スポーツや障がい者スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に貢献している団体・グループ・企業の活動を顕彰するもの（公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構ホームページより）。

※3 「Creating Shared Value」の略語で、「共有価値の創造」を意味しており、本業で社会的課題に取り組み、「社会問題の解決」と「企業価値の向上」を両立させることを指す。